

在日大韓基督教会
宣教100~110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

福音新聞

THE GOSPEL NEWS

12月1日(水) <2010年> 第692号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

電話03(3202)5398番

発行人 崔栄信・編集人 洪性完

毎月1回1日発行 購読料1部100円
昭和38年9月20日 第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社
Tel.047-495-2555 Fax.047-432-7912



第15回KCCJ人権シンポジウム
「韓国併合100年とKCCJの宣教」

11月7、9日、関西セミ
ナールハウスで第15回人権シ
ンポジウムが「韓国併合1
00年とKCCJの宣教」
の主題のもと開催され、39
人が参加した。

南KCC・RAIKが共催
する今回のシンポジウムの
目的は、①「韓国併合」1
00年という歴史の節目を
迎え、韓半島と日本の狭間
を生き抜いた「在日キリス
ト者(寄留民)」の歩みを振
り返ると共に、

宣教地・日本に
おいて「天皇
制」とどのよう
に向き合うか
を考察しつつ、
KCCJの使
命を展望する、
②多民族・多文
化共生社会に
おけるさまざまな
人権問題
に対する取り組み
を考察する、
であった。

開会礼拝は、
皇制の枠組みに甘んじたの
が教団の歩みであると指摘
した。

二日目の聖書研究は金必
順牧師が担当し、「変えて
いく力」と題して、マルコ
による福音書7:24、30、
マタイによる福音書15:21
、28を取り上げ、イエスの
宣教姿勢を変えさせたよう
に見受けられる異邦人女性
の「信仰の在り方」をケ
ルプで話し合う方法で
行った。

特別講演2では李省展・
恵泉女学院大学教授が、
「植民地主義とキリスト教」
と題して、まず「韓国併合」
の諸問題を近代の国際政治
状況から分析した。西洋は
キリスト教文化の連鎖で繫
がっているのに、日本は東
洋の異質存在として国際
社会から孤立し、排除され
た反発が、日露戦争後に起
きた日比谷焼打事件であ
り、日本民衆の「政治参加」
が排外主義であったこと、
は全国女性会電話相談セッ
ト

三日目の全体協議では、
これら講演と発題を受け止
めながら、行動指針をまと
めた(社会委員会は、シン
ポジウムの記録を資料集と
して発行し全国教会に届け
る予定)。

閉会礼拝は朱文洪・社会
委員長が「収穫の働き手」
(マタイによる福音書9:
35、38)と題して行い、崔
栄信・総会長の祝祷で、二
泊三日の密度濃い会議を終
えた。

(報告・朱文洪牧師)

KCCJ人権シンホ開催

「韓国併合100年」をテーマに

聖誕節献金要請

(目標額500万円)

<祝>聖誕-기쁘다 구주 오셨네-

在日大韓基督教会が社会に向けての愛の実践のため、全国の教会に献金を要請します。聖誕節献金は以下のところに使われる予定です。

1. 浪速教会ホームレス宣教活動とキリスト教関係機関等を通しての障害者・社会的弱者・福祉活動支援
2. 目の不自由な方のために開眼手術(シロアム眼科病院での盲人伝道活動支援)
3. 未来を發展させる人材育成
4. 緊急支援活動(各種災害)

送り先・問い合わせ: 総会事務局 (03-3202-5398)

港国際法律事務所

横浜市西区北幸2-3-19 日総第8ビル4階

1人で悩まずに、ご相談下さい。

代表弁護士
玄 君先 (横浜弁護士会)
東京大学法学部卒

弁護士12名

港国際法律事務所

※業務内容

- 1) 企業法務
●M&A
●企業買収
●企業再生
- 2) 個人法務
●債務整理
●相続・離婚
●金融被害

〒220-0004 横浜市西区北幸2-3-19
TEL:045-628-9311
FAX:045-311-8544
URL:www.minatolaw.biz/

まずはお気軽に
お問合せ下さい 24時間受付
0120-980-428

不動産管理

アルカンシェル名駅

李 光 世
(名古屋教会 長老)

〒453-0013 名古屋市中村区亀島2-2-27
電話・FAX 052-451-7713
携帯 090-3578-7571
E-mail: kwangse.lee@nifty.com

株式会社 ニューキング 愛

取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

聖誕節メッセージ

마리나타, 주여 오시옵소서

이사야40:3, 누가복음3:4 総幹事 洪性完 牧師

洗礼 요한을聖經은「主
의 길을準備하고 곧게 하
는者」라고 말하고 있
습니다. 주 예수께서 우리
에게 오실 길을準備한다
는것은 어떠한 것일까요?
크리스마스에는 언제나
末에다가 옵니다. 하나님
의恩恵입니다. 왜냐하면
이를契機로 우리는1年
을돌이켜볼수있기때
문입니다. 우리들이 지금
여기서,自己自身の1年
의生活과 지나온自身을
의生活를돌이켜보았을
때, 우리의24時間의生活
365日の生活이「主에
부터 主의引導하심을따
라왔습니까?
수여, 언제든 어디로든와
주십시오. 언제나, 어떤말
이라도 말씀해 주십시오.
저는 그것을妨害하는일
은하지않았습니까?」고하
는生活이었는지? 「고하
는生活이었는지?」
「瞬間이라도主 예수의
말씀을듣고듣지않은척
하는, 그와같은方法으로
예수를十字架에다시매
달지는않았는지?」그러
그주 예수의말씀을곧게
하기는커녕, 굴러버리고
마는生活을한적은없었
던것이지, 우리 모두 그
렇게문지않을수있습니
다. 우리 在日大韓基督
교회는出身背景은 너무나
다양하지만이日本社会속
에서 主의 길을準備하고
곧게하기위해하나되게하
신 무리로써, 102年前
부터 主의引導하심을따
라왔습니까?
로 크리스마스의기쁨을받
읍시다. 하나님에게로의
길이되기위해이 크리스
마스에 주 예수께서 태어
나 주셨습니까?
하나님을 믿고 사는사
람의 마음이란, 길이없는
沙漠이요 荒野라 말할수
있습니다. 우리 在日大韓
基督教会는 2010年8
月, 포스트「日本에 의한
(強制) 併合100年」에
관한 在日大韓基督教会의
宣敎聲明으로써, 荒野의
記憶과約束을發表하였
습니다. 여기, 이日本社会
에 있어서 주 예수께서 우
리에게 오실 길을準備하
려는 우리 生活의 모습이
어떻게 될지를願합니다.
「...韓国併合以來, 在
日코리언 그리스도人에
의한 義의歴史問題와 對峙하면
서 荒野의 길을引導하
시옵소서!」
同時에, 이 디아스포라
의 땅에서 또한激動의길
을 걷는 東北亞細亞 世界
에서 宣敎의 帳幕을 펴고
그리 平和的 共生의 路를
(행) 解放된 心을(創世
記26章)을과가는것입
니다. 이 발견을 主의
祝福이 豊盛히 臨하옵소
서. 마리아타, 주여, 오시
옵소서!

歴史コラム 93

日本による「韓国併合100年」と
KCCJ宣教声明 李清一(歴史編纂委員会)

写真・福音新聞「9月号」に掲載された「宣教声明文」

福音新聞

「荒れ野の記憶と約束」

「2010年10月22日」に在日大韓基督教教会(KCCJ)の歴史編纂委員会が「韓国併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

「併合100年」に関する「宣教声明」は、10月22日、在日大韓基督教教会(KCCJ)の歴史編纂委員会が「韓国併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

1910年8月、日本は「大韓帝国」に対して「韓国併合条約」を強行し、その主権を奪って過酷な植民地支配を行った。その「併合」から100年の節目の年にあたる今年8月22日、在日大韓基督教教会(KCCJ)は「併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

「併合100年」に関する「宣教声明」は、10月22日、在日大韓基督教教会(KCCJ)の歴史編纂委員会が「韓国併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

「併合100年」に関する「宣教声明」は、10月22日、在日大韓基督教教会(KCCJ)の歴史編纂委員会が「韓国併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

「併合100年」に関する「宣教声明」は、10月22日、在日大韓基督教教会(KCCJ)の歴史編纂委員会が「韓国併合100年」に関する「宣教声明」を公表した。

第15回KCCJ人権シンポジウム声明書

私たちは、2010年11月7日から9日にかけて、関西セミナーハウスにおいて、KCCJ社会委員会・KCC・西南KCC・RAIKの主催で「韓国併合100年とKCCJの宣教」の主題のもと、第15回KCCJ人権シンポジウムを開催した。

このシンポジウムにはKCCJの牧師・長老・信徒、全国教会女性連合会、青年会全国協議会、および日本の諸教会から39名が参加した。「韓国併合100年」という歴史の節目において、私たちは在日コリアンの歴史的起源を再確認するとともに、KCCJのこれまでの宣教の歩みを真摯に検証し、これからの課題について協議した。

私たちは、日本の近現代史のなかになおほびこる「天皇制」と植民地主義の問題を直視した。朝鮮をはじめとする東アジア諸国にむかって、際限のない対外侵略をくりかえした近代日本の背景には、国家神道を統合原理として民衆に犠牲を強要し続ける「天皇制」の存在があった。この体制は戦後もそのまま連続しており、植民地支配責任の清算と戦後補償は未解決なままである。天皇を頂点として人々を序列化し、人々を差別するこの構造は、いま外国人を在留資格別に分類し、同化と排除を強要しつづけている。

2001年の「9・11事件」以降、外国人・民族的マイノリティを監視・管理しようとする世界的な流れに追随して、日本は07年、日本に入国・再入国する外国人からの顔写真・指紋情報登録制度を導入した。さらに09年、外登法を廃止して新たな在留管理制度を導入するため、入管法・入管特例法・住民基本台帳法の改定法を制定した。これにより12年7月から、在日外国人を特別永住者／中長期在留者／非正規滞在者に分類し、管理・排除する制度が実施される。在日外国人の人権保障をめぐる施策をまったく欠いたまま、外国人監視・管理制度だけが肥大化していく現状は、きわめて危険であると認識する。

私たちと私たちの隣人には小さくされ、痛みを受けている人たちがいる。KCCJは歴史の節目に立つたびに、この地において人間の尊厳を剥奪された人々のための取り組みを宣教課題として掲げてきた。にもかかわらず、この宣教課題は果たして全教会的課題として担われてきたのだろうか。そのための具体的な努力が実際にどれだけ行われたのだろうか。私たちは悔い改めの中でそのことを問わなければならない。私たちは、KCCJがディアスポラの地・日本において神の宣教の業に参与するなかで、「マイノリティ性」「多様性」「エキュメニカル性」という特徴を与えられたことを再確認し、以下の課題をたて、この地における平和と正義の実現の為に尽力していくことを祈りとあわせてここに宣言する。

1. すべての人の尊厳が尊重される多民族・多文化共生社会の実現にむけて、「新たな在留管理制度」の導入に反対し、「外国人住民基本法」の制定運動をさらに力を入れて推進する。
2. 人種差別撤廃法の制定を求めるとともに、政府から独立した国内人権機関の創設を、国会・政府に訴えかけていく。
3. KCCJに与えられた牧師・長老・信徒の共同体の「多様性」を豊かな恵みとし、キリストにおける和解と一致と連帯を実現できるよう、働きかけ続ける。
4. KCCJがこれまで培ってきた国際・地域・個教会レベルにおけるエキュメニカルなネットワークを拡大・内実化させる。
5. 以上の課題を継続して担っていくために、人権シンポジウムを今後とも持続的に開催する。

2010年11月9日

第50回総会期
第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

第50回総会期第3回人事委員会報告

YMCA 在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して
2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャン・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校)

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食¥200
カルピック、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食
(全メニューコーヒープッキ)

在日本韓国YMCA
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/

東京韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韓国YMCAアジア青少年センター
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

学習・洗礼準備勉強
小冊子(改訂版)

- 韓国語と日本語の両方があるから、便利
 - 現代式表現だから、分かりやすい
 - 項目ごとに聖書箇所があつて、使いやすい
 - 文字が大きく、内容も充実
 - 安いから、日々の伝道にも利用可能(1冊150円)
- ※お申込みは、総会事務局へ
電話：03-3202-5398



감사의
100년, 희망의
100년
(데살로니가전서 5:18)

〈宣教100周年標語〉

2010년의
일
런
러
이
저

◆本國教団との宣教協議会



◆全国女性会、北朝鮮へ練炭支援



◆全国青年協議会夏季修養会



◆本國大学訪問



◆日本教団との宣教協力協議会



◆全国教役者・長老研修会



◆韓日併合100周年共同記者会見



◆総会神学校卒業・入学式



◆全国女性連合会4局合同研修会



◆第10回青年のための研修会



◆韓国・在日宣教協議会



◆関西聖書神学院卒業礼拝



部会 中地方 宗教改革493周年 記念礼拝開く

中部地方教会は、宗教改革493周年を記念して10月31日、名古屋教会にて記念礼拝を行った。礼拝では本総会の総幹事である洪性完牧師が、「神さまへの真実な生きた」という題で説教をされた。大会に参加した各教会からは、年を重ねるごとに、神さまの御名を褒め称えるためにますます祈りと努力を深めていることが感じられた。今年の大会は、とくに教会学校の子どもの活躍が目覚ましく、中部地方教会の一つの課題でも



ある「子どもへの信仰継承」を、教会ごとに熱心に取り組んでいる様子がよく見られた。また、共に祈りの課題を分かち合い、その祈りを賛美に代え、感謝しながら賛美することがいかに美しいことであるかを、今一度考えさせられた。「愛」賞は豊田めぐみ伝道所、「信仰」賞は一宮伝道所、

前原開拓伝道集会2周年礼拝開く

九州大の移転先、今後滞在信徒増加が予想



KCCJ宣教100周年にあたる2008年に、西にキヨ離れた糸島市に前原開拓伝道集会を始め、その2周年記念礼拝と祝賀会が、去る10月24日に行われた。日本基督教団前原教会の礼拝堂にて行われる毎月1回の集会には、地元からは4、6名、地方会信徒4、7名が礼拝と愛

「外国人住民基本法」制定を求める

キャラバン宇部で開催

外国人住民の地位と権利を保障する「外国人住民基本法」の制定を求める集会が、11月18日、九州・山口外き連の主催、日本基督教団九州教区宣教協力部門、KCCJ社会



委員会、西南地方社会部、西南KCCの共催で、山口県の日基督教団宇部緑橋教会で行われ、30名が参加した。これは九州・山口・沖縄での16回目の集会となった。韓国語と日本語での聖書朗読（イコリ

法」の制定への期待と新しい世界の現実に連帯を深めながら、李陽雨氏のコンサートを楽しんだ。在日2世の李氏は、「在日」として体験した貴重なものを歌と語りで披露し、共生社会へのメッセージを発信した。また昼には、朝鮮人強制連行の跡をたどる宇部のフィールドワークがあった。それは海に沈んだ長生炭鉱であり、68年前（1942年）に水没事故によって183人中137人の朝鮮人が犠牲者となった現場である。この犠牲者の名を刻む碑を建てようと、宇部緑橋教会が事務局となって募金活動を開始している（問い合わせは、宇部緑橋教会0836-211-8003）。

（報告・朱文洪牧師）

お詫びと訂正

◆10月号の歴史コラム92の写真説明中の「指紋捺捺をする」は「指紋捺捺を拒否する」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

◆10月号の青年会全国協議会役員の名前が数名間違っていました。お詫びして訂正いたします。

・副代表・渉外部長・安藤修平・安藤周平
・総務・周三重・朱美恵
・書記・金財源・金在源

編集部よりお知らせ

今までの福音新聞のご愛読を感謝いたします。2011年度からは新聞の様式が変わる予定です。引き続き福音新聞を宜しくお願いいたします。